

メッセージ

四万十川のためいき・・・

四万十川村策室
(市原利行)

四万十川は人を呼び、人をひきつける。
え！と思われる人も来てくれる。勿論、マスコミの方も、若者も、家族連れも、海外の方も・・・

今年の漫画甲子園で優勝した沖縄県の高校生は、『沈下橋(※)』から飛び込み遊んだとか。

四万十川は来る人誰も拒まない。しかし・・・。

とある夏のキャンプ場。愛媛県の若者グループが河原に車で乗り込むやバーベキューの準備。スイカは四万十川へ。2時間後、彼らは平然と立ち去った。その跡は・・・アアー！！

スイカの皮、残飯、ビニール袋、真っ黒になった焚き火の跡etc.

四万十川の悲しそうな顔。見かねた人が全て片づけてくれたが、毎年どの河原でも繰り返される、**四万十夏の風物詩**。

早朝。霧が立ちこめる川面にコイが大きくジャンプした。又コイよ。四万十川は人を疑うことを知らない。

四万十川は人を呼び、人を引きつける。来る人誰も拒まない。しかし・・・。

そろそろ考え直す時期ではないか。自然を守る旅人はJR四国のコピー。まさに、四万十川を愛し、四万十川を守り、地域の人達と交流できる人だけが、訪れる資格があるのだ。

私たちは建設省、流域市町村、住民の方々とは知恵を出し合い、四万十川ルールをつくることを決心した。来春には出来上がる。

来年の夏には、四万十川のためいきがよろこびに変わっていることを念じつつ・・・。

－この物語は、フィクションではありません。－

一口メモ

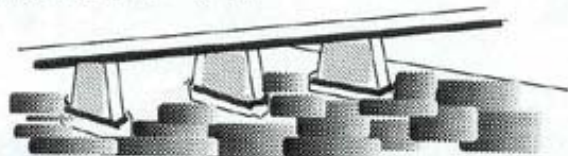
～沈下橋～

沈下橋とは、欄干がなく、大洪水の時に橋そのものが水中に沈むように造られた橋のことです。

現在、四万十川流域には、四万十川本川の22カ所と支川を併せ、全部で48カ所に現存しています。

沈下橋は自然の中に調和し、水面との距離が近いことから、人が川に親しみを感じ、中には自然の飛び込み台になっているところもあります。

県では、四万十川流域の基本方向を示した「清流四万十川総合プラン21」に沿って、生活文化的遺産として、沈下橋の保存方針を策定する作業を進めています。



～四万十情報～

四万十川源流点の村
東津野村を愉快地に体験しませんか！

いながづくり研究所

参加モニター大募集！

いろんな仕事を持った東津野村の若者が、新しいいながづくりを考える研究所。それが「いながづくり研究所」です。村外に住む参加モニターの方に、**年4回の愉快的イベントを通じて東津野村を体験**してもらい、意見を交換しながら、よりよいいながづくりにつなげていこうとするものです。

参加費無料・定員30名

申込締切：平成9年9月30日(火)

お問い合わせ・お申込みは

東津野村(企画財政課) TEL 0889-62-2311

テレビ高知 TEL 0888-80-1111